

## 山行報告書

山行管理部

### 例会山行 菊水山・鍋蓋山 5月28日(日) 晴れ

C L伊東、S L福永、太田、松本(正)、森(幾) 参加者 46名(内一般2名)

阪急梅田8:20====新開地8:56====鈴蘭台9:25……登山口9:40……鉄塔……  
菊水山(昼食)11:15~11:55……天王吊り橋……鍋蓋山……大龍寺……市ヶ原……  
布引ダム……布引の滝……新神戸駅(解散)16:05

今年度、最初の例会山行です。梅田駅を予定どおりに出発。新開地で神戸電鉄に乗り換える。車中で人数を再確認すると1名多い。少なければ問題だが、多いのはいいか。幸先のいいスタートだが、その問題はすぐ解決した。

天気がよく、菊水山からの展望は素晴らしい。淡いブルーの明石海峡、それに横たわる明石海峡大橋が白い線で描いたようだ。菊水山で昼食の後、天王吊り橋への急な下り、そこから鍋蓋山への急登が待っていた。「下りは、間隔を開けてゆっくりと」「鍋蓋山の手前に大岩を過ぎると山頂まで、あと少し」「あの、松林のところが鍋蓋山」。最初の心配をよそに無事通過、予定時間内に鍋蓋の山頂に到着した。そこは、神戸の町並み、港、そして空港が眼下に広がっていた。

市ヶ原までは緩い下りの尾根道、今までと打って変わって足取りも軽い。大龍寺では、早々と反省会の参加者を募る。少し早すぎるかなと思いつつ会長に参加人数の連絡。反省会の前に、少し反省しました。

市ヶ原の河原では、各専門部の案内と例会部員の紹介など。終わると、さあ、出発。あとは、谷道を下るだけだ。谷川のせせらぎ、ダムあり、滝あり、水辺は気分がいい。今までの暑さを一気に吹き飛ばしてくれた。新神戸駅には16時5分に到着。予定を5分遅れたが無事解散しました。(伊東 記)

**サロン 関門トンネルウォーキング 6月3~5日 担当宇野 参加7名**  
大阪南港17時(船泊) 新門司港—5.30—海底トンネルウォーキング—下関着バス—角島大橋—元乃隅稻成神社—青海島—新門司港—(船泊) 大阪南港(解散)

4日のクリーンハイクと重なり申し訳ない気持ちでの出発になりました。乗船すると私達のほか4名の同室。持ち寄りの食料で夕食で楽しむ。5.30分新門司港エレベーターで降り真っ直ぐのトンネルを40分ぐらい歩き下関に到着、バスに乗り換えサーフィンの人が遊ぶ海に架かる長い角島大橋を渡り、岬の灯台の近くをのんびりと、いかをつまみながら散策。元乃隅稻成神社はアメリカで日本の美しい風景に選ばれてるだけ有り、海的美しさ、岸壁に打ち寄せる波の勢い其の白さ、塩吹の

ミストの気持ち良さ、岡に延びる赤い鳥居とのコントラストの美しい風景、この美しさは身に染みる思いでした。昼食は海鮮丼に皆さん納得。次は青海島のウオーク、日本海の青く澄んだ海の岬は歩くには結構厳しい、雑木林の小径で立ち止まりながら、青い海、芸術的な奇岩、白い波に離れがたいような眺め、前に見た東山魁夷の唐招提寺の襖絵の風景が此処だと知り感動しました。三ヶ所の散策は山口の特上の風景に清々しい気持ちになり、又かまぼこも美味しく、初参加の小笠原さん、市井さんの参加で良き旅が出来、健康に感謝の旅でした。 (宇野 記)

**土曜山行 京都北山 雲取山 6月10日 CL森(庸) SL原 参加 24名**

京都バス 広河原行き 7:50 出町柳発→9:20 花背高原前到着 (説明・体操) 9:35 出発→寺山峠 10:00→雲取峠 10:35→雲取山頂 11:00→三の谷出合 11:45 (昼食) →旧花背峠 13:40→峠下バス停 14:30

今回の土曜山行は7月お泊りの訓練を兼ねているので、何人かはプチ歩荷での参加となった。京都北山は蛭が多いと聞いているので、怯えながら沢沿いの登山道を歩く。途中2度ほど「きゃー蛭!!」という悲鳴を後ろの方で聞いたが、先頭を歩いていたので一度も蛭に出会わずラッキー (蛭は先頭の体温で反応して、2~3人目以降を狙うらしいです)。お天気は晴れ時々曇り、湿度も低くさわやかな登山日和で、まったり山頂到着。山頂から三の谷出合まで、ロープが張られた急坂を用心しながらの下りでしたが、みなさん難なく通過。20名以上の大所帯でしたが、予定時刻よりずっと早く下山でき、バスの到着時間までいっぱい時間を余らせてしまいました。

最後にSLの原さん、何から何まで面倒見ていただき、ありがとうございました。  
(森(庸)記)

**教育部 六甲 西山谷 沢登り 6月11日 L高桑 参加 10名**  
8:00 阪急御影 — 09:00 西山谷取付き — 14:00 終了店  
16:30 白鶴美術館前で解散

毎年初歩の沢登りとして白滝谷を行っていましたが初級ではないとの声に応えるため第一弾を西山谷へ変更して実施しました。その結果の反省点で良かった点は

- ① 大阪から近く2時間以内で取付きに行け安価である
- ② 水量が多くなくズブ濡れにならない
- ③ 他の入渓者が少なくマイペースで遡行できた

問題点は①沢登りとしては初めてのコースで予想以上の難度の高い沢であった。今後

も初歩の沢に利用する場合は巻道などを精査する必要がある。②リーダー判断のイケイケと参加者の勢いで安全確保が不十分なまま登攀したカ所もあり①と合わせて今後の入渓時には参加資格及び工程の見直しが必要。③終了点を間違い私有地に入り注意を受けた。

以上の反省点は十分な熟慮が必要だが、擦り傷を負った参加者も含め想像以上の達成感で満足していた。しかし、この感覚が事故の要因とも自戒する次第です。

(高桑 記)

**ウィークディ山行 笠置山 6月14日 CL 楠本 SL 堺参加 15名**  
JR 大河原 10:10 - 恋路橋 - 恋志谷神社 - 十一面観音磨崖仏 - 布目川甌穴群  
11:50(昼食) - 笠置山三角点 - 笠置山 13:40 - 山内巡り - 笠置駅 15:10

天気が良くて、木陰の道で涼しい山行でした。三角点へは急登であり人が入っていない道でした。この道は下見していなかったため、地図を見ながらの登りで、別の面白さがありました。あまり汗をかかなかったためか、温泉に寄らず帰りました。

(楠本 記)